

## HOPEレポート X X 「団塊男性～定年後に目指す『男のロマン』調査」—団塊はチャレンジ精神

**定年後は、「年齢相応」よりも「夢中になれるもの」「年齢に縛られない生き方」へ。**  
**“世代間交流”は、「同世代と」より「年代こだわらず様々な人と」。**  
「様々な世代の人から刺激を受けたい」「他世代の人が考えていることを知りたい」へ。  
取り組みたいことは、「ネット上の情報発信活動」「地域・社会貢献」「夫婦で旅行・ホームパーティ」。

博報堂エルダービジネス推進室では、50歳以上のエルダー生活者について、常時さまざまな調査・研究を実施しておりますが、このたび、団塊世代男性の定年（引退）後のアイデンティティと生き方にスポットを当て、「定年後に目指す『男のロマン』調査」を行いました。今回はその速報がまとまりましたので、ご報告申し上げます。本件調査は、全国の56～58歳の男性411名に対し、2005年12月にインターネットで調査を行ったものです。

この結果、定年前後で団塊男性のアイデンティティを比較すると、定年後には「男としての自分」「夫としての自分」の数値が大幅に伸びていることが判明しました。特に「男としての自分」は21.2%となり、定年前の数値(5.3%)の4倍近くとなっています。

目指すライフスタイルは、「年齢にしばられない生き方をしたい」「自分が夢中になれるものを持っていていい」など刺激や変化を求める回答が6割を超える一方、「年齢に応じた暮らし方をしたい」「できるだけラクをしていきたい」などの消極的な回答はわずかでした。

また、定年後の他世代との関わり合いについては、「年代にこだわらずいろいろな人と知り合う」という回答が6割を超え、「同世代で気兼ねなく」を大きく上回りました。また、「様々な世代から刺激を受ける」「他世代を知りたい」「次世代と共に創る」ことを求めていました。

定年後に取り組みたいことには、「清掃活動」「地域の防災」「NPOに参加」などが4割前後の高い数値を示し、ボランティアや社会貢献活動への意識の高さが伺えました。自分でやりたいことは「ネット上の情報発信活動」、家族・夫婦では「旅行・ホームパーティ」が高い数値となりました。

どの設問においても自己実現や夢を体現する回答が多く、“老後・余生をつつがなく過ごす”という旧来の意識は薄いようです。団塊男性は、代表的な会社人世代です。その反面、「自分の夢」「男のこだわり」「地域や社会への貢献」といった願望を押さえつけていたのかもしれません。定年後の団塊男性たちは、積極的に若々しく生き、これまで断念していた「男のロマン」を実現したい、と考えているようです。

### ＜調査結果トピックス＞

- ◇ 定年後のアイデンティティ、「男としての自分」「夫としての自分」が大幅に伸張。
- ◇ 目指す生き方は、「年齢にしばられない生き方をしたい」「自分が夢中になれるものを持っていていい」。進化やチャレンジを求めるポジティブな回答が6割を超える。
- ◇ 定年後の他世代との関わり合い方は、「年代にこだわらずいろいろな人と知り合う」。
- ◇ 「下の世代を育てる」よりも、「様々な年代から刺激を受ける」「他世代に対する理解」へ。
- ◇ 「清掃活動」「地域防災」「NPO参加」に取り組みたい人が約4割に。

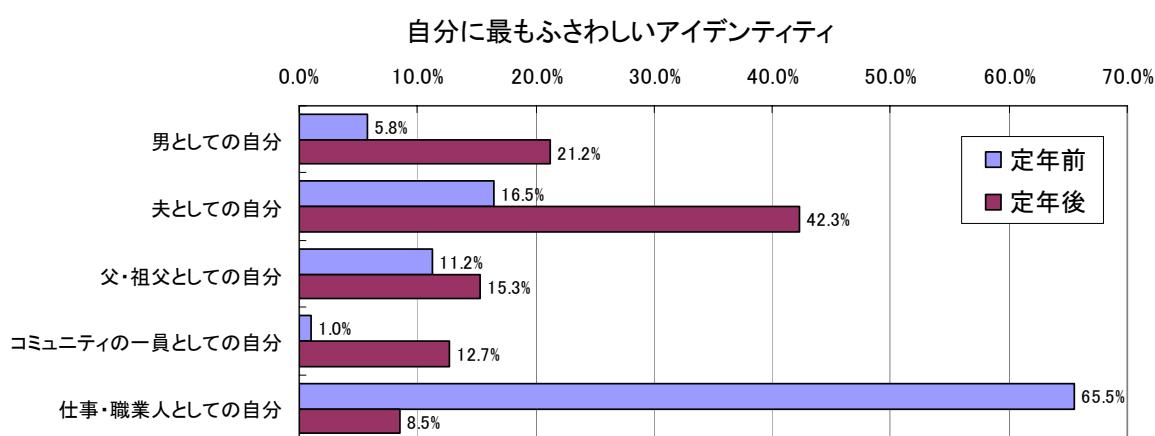
## 添付資料：調査データ

調査概要 調査時期：2005年12月  
調査地域：全国  
調査対象：団塊世代（56才～58才）男性 411名  
調査方法：インターネット調査

### ◇ 定年後のアイデンティティ、「男としての自分」「夫としての自分」が大幅に伸張。

団塊世代男性たちに、自分に最もふさわしいアイデンティティ（役割のイメージ）を、定年前（現状）と定年後（将来の理想）に区分して尋ねてみました。その結果、定年後のアイデンティティは、「男としての自分」「夫としての自分」の数値が非常に高くなっていました。

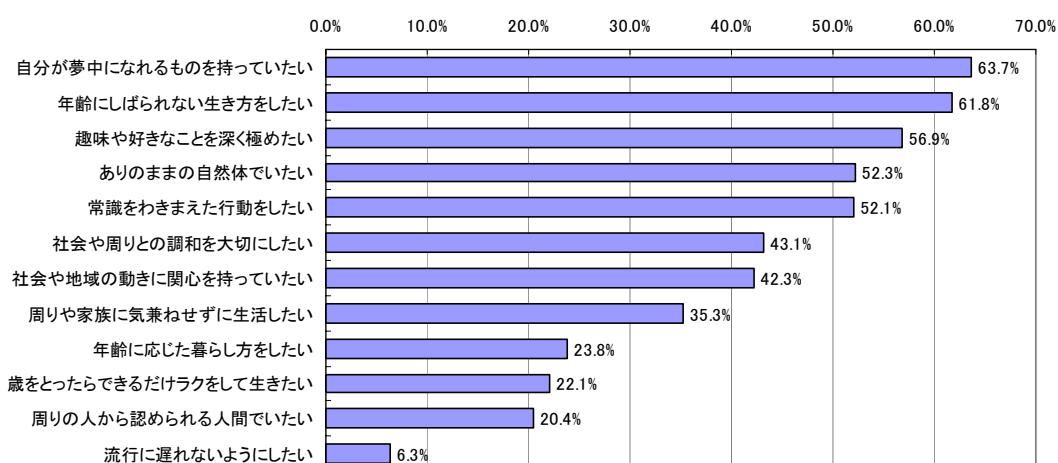
特に「男としての自分」は定年後（21.2%）が、定年前（5.8%）の約4倍となり、著しく伸張しています。現役時代は仕事中心の生活を送り、十分に味わえなかった「男のロマン」や「自分のこだわり」を定年後にぜひ実現させたい、という思いが表れているといえそうです。



### ◇ 目指す生き方は、「年齢にしばられない生き方をしたい」「自分が夢中になれるものを持ってみたい」。進化やチャレンジを求めるポジティブな回答が6割を超える。

どのような気持ちで定年後の生活に取り組みたいか、を尋ねたところ、「自分が夢中になれるものを持ってみたい」「年齢にしばられない生き方をしたい」が6割を超える高い数値となりました。「男のロマン」や「男らしさ」を貫くには、進化やチャレンジする気持ちを抱くことが不可欠なのかもしれません。逆に、「年齢に応じた暮らし方をしたい」「年をとったらできるだけラクをして生きたい」などは低く、静かにひっそりと余生を送る気持ちは薄いといえそうです。

### どのような気持ちで定年（引退）後の生活に取り組みたいか

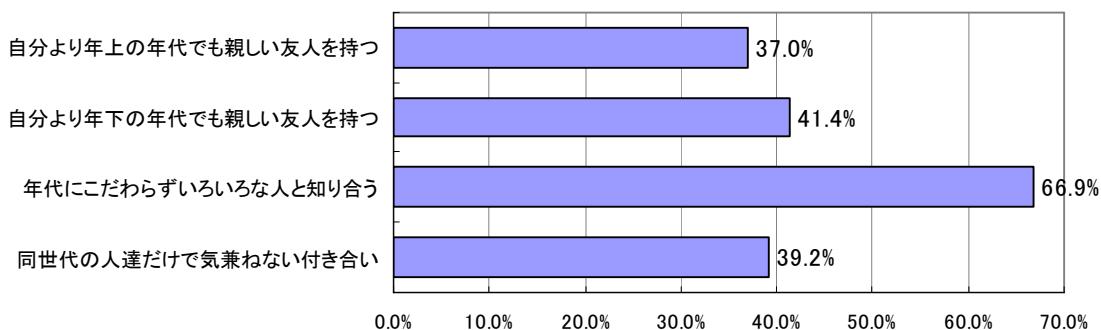


◇ 定年後の他世代との関わり合い方は、「年代にこだわらずいろいろな人と知り合う」クロスジェネレーションへ。

定年後に付き合いたいと思う世代はどの世代か、という質問に対しては、「年代にこだわらずいろいろな人と知り合いたい」と答えた人が最も多く、66.9%となりました。

その一方で、「同世代の人達だけで気兼ねなく付き合いたい」という人は39.2%にとどまりました。一昔前までは、年をとると体力や趣味の点で共通する同世代の人と付き合う、ということが普通でした。しかし、団塊世代の男性は、年をとっても積極的に他世代との関係を求める、社交的で積極的な考えを持っているようです。

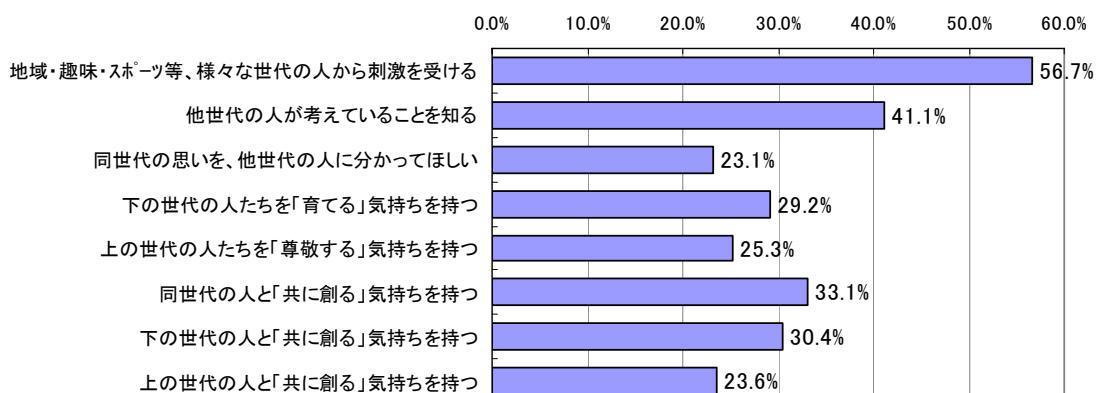
定年(引退)後に付き合いたいと思う世代



◇ 「下の世代を育てる」よりも、「様々な年代から刺激を受ける」「他世代に対する理解」へ。

定年後、他世代と具体的にどのように関わりたいか、ということについては、「地域・趣味・スポーツ等、様々な世代の人から刺激を受ける (56.7%)」「他世代の人が考えていることを知る (41.1%)」などが高い数値を示しました。逆に、「同世代の思いを、他世代の人に分かって欲しい (23.1%)」「下の世代の人たちを育てる (29.2%)」などは比較的、低い数値にとどまりました。年寄りが昔の自慢話や後身の指導にこだわり、若い世代から敬遠されるという図式は、現在の団塊世代男性には当てはまらないようです。むしろ、他世代から積極的に学び、理解に努めることで、年をとっても成長したい、刺激を受けたいという思いが強いようです。

定年(引退)後、他世代と具体的にどのように関わりたいか



◇ 「清掃活動」「地域防災」「NPO参加」に取り組みたい人が約4割に。

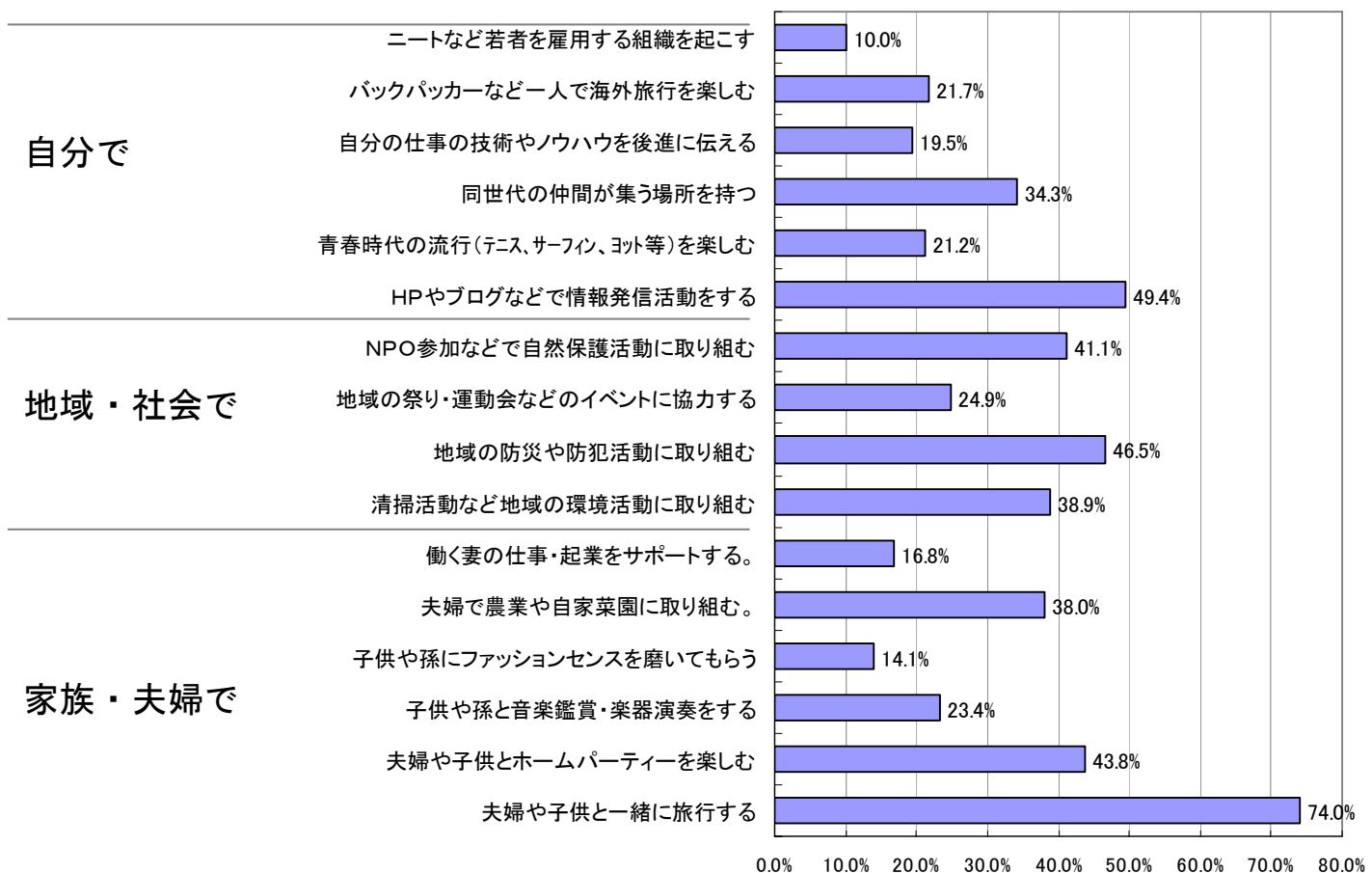
団塊男性たちに、定年（引退）後、取り組みたいと思うことを具体的に尋ねてみると、自分がやりたいことは「バックパックでの一人旅行」「青春時代に流行ったスポーツ」、家族・夫婦の関係では「家族旅行」「ホームパーティーの実施」などが目立ちました。

その一方で、地域・社会との関係では、「清掃活動」「地域防災」「NPO参加」などがそれぞれ4割前後の高い数値を示し、社会貢献やボランティア活動にも高い意欲があることが判明しました。

若い時代に思い描いた「自分の夢」「男のロマン」の実現を望む一方、地域・社会との関わりが妻や子供に任せきりだったことを反省し、献身の思いが強くなっているのでしょうか。

団塊世代の男性たちは、様々な分野に人間関係を広げ、積極的に若々しく生きることを求めているといえそうです。

定年（引退）後に具体的に取り組みたいこと



## ご参考

### ■エルダーの規定（博報堂エルダービジネス推進室による）

50歳以上の高齢者を「エルダー」と規定	
導入期	50～64歳
本格期（高齢者）	65歳以上
前期高齢者	65～74歳
後期高齢者	75歳以上

### ■これまで発行したHOPEレポート

1. HOPE レポート I ニューエルダーの登場 (2001年5月・既報)  
・ニューエルダーの登場 エルダー世代関係づくりのキーワードは「情報縁」
2. HOPE レポート II 情報縁：つながる場 (2001年7月・既報)  
・ユニバーサルデザイン
3. HOPE レポート III 情報縁：つながる関係 (2001年8月・既報)  
・エルダーの人間関係
4. HOPE レポート IV 情報縁：3世代コミュニケーション  
エルダーの「子供」「孫」とのコミュニケーション (2001年9月・既報)
5. HOPE レポート V 「エルダー層のお金に対する意識調査」 (2001年11月・既報)
6. HOPE レポート VI つながるメディア「ラジオとエルダー」 (2001年11月・既報)
7. HOPE レポート VII 「エルダーと旅」 (2002年3月・既報)
8. HOPE レポート VIII 「50代調査速報」 (2002年7月・既報)
9. HOPE レポート IX 「HOPEサービス速報：エルダーとパソコン・携帯電話」 (2002年10月・既報)
10. HOPE レポート X 「50代 60代 1600名のお金に関する意識データ」 (2003年3月・既報)
11. HOPE レポート増刊 「『新しい大人文化』創造のヒント 『開け ひま』」 (2003年10月・既報)
12. HOPE レポート X I 「50代夫婦のパートナー評価」 (2003年12月・既報)
13. HOPE レポート X II 「エルダーの食生活調査」 (2004年2月・既報)
14. HOPE レポート X III 「エルダーと健康調査」 (2004年4月・既報)
15. HOPE レポート XIV 「3世代（ジェネレーション）クロス調査」 (2004年7月・既報)
16. HOPE レポート XV 「団塊夫婦の定年意識に関する調査」 (2004年9月・既報)
17. HOPE レポート XVI 「団塊世代のエンタテイメント実態調査」 (2005年4月・既報)
18. HOPE レポート XVII 「団塊世代のファッショントレンド実態調査」 (2005年7月・既報)
19. HOPE レポート XVIII 「エルダーの情報縁とタッチポイント」 (2005年9月・既報)
20. HOPE レポート XIX 「団塊世代～定年（引退）後のライフスタイル調査」 (2005年10月・既報)
21. HOPE レポート XX 「団塊男性～定年後に目指す『男のロマン』実態調査」 (今回)

\* このニュースリリースは高齢者も読みやすい11ポイント以上の文字を使用しています。  
(11ポイントは、これ以上小さくなると読みにくくなる限度です)